

医療・福祉分野の事業継続

～災害に強い医療福祉体制を作る～

災害医療の実践から得た教訓 平時からの備えによるレジリエンス強化

定員 **100** 名様

参加無料

開催日時 2017年12月4日(月) 13:00～16:00(12:30受付開始)

開催場所 水前寺共済会館 グレーシア 芙蓉(1F) 〒862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺1丁目33-18

主催 内閣官房国土強靱化推進室

東日本大震災や熊本地震を経験して、「事業継続」の取組の必要性がクローズアップされています。「事業継続」は個々の事業者にとってはもちろん、社会全体にとっても、そのレジリエンスを高める上で非常に大きな役割を果たします。特に、医療・福祉施設等においては、災害時に期待される社会的役割ゆえに、地域連携を踏まえた「事業継続」への取組の重要性が高まっております。

そこで、内閣官房国土強靱化推進室では、医療・福祉施設等を対象としたシンポジウムを開催し、有識者による講演や登壇者によるディスカッションを通じて、「事業継続」の重要性、課題の共有を図るとともに、今後の普及促進に繋げていきたいと考えています。

本シンポジウムは、全国6か所^(※)での開催を予定しています。

メインテーマ「医療・福祉分野の事業継続～災害に強い医療福祉体制を作る～」のもと、各開催地域の特性を踏まえたサブテーマを設定し、事業継続に係る地域独自の取組と課題を抽出した上で、最終回(東京都;下記参照)にて総括し、今後の方向性等を考えていきます。

九州地域では、サブテーマを「災害医療の実践から得た教訓 平時からの備えによるレジリエンス強化」とし、医療・福祉施設等における災害時連携や事業継続の重要性と課題について共有いたします。

(※) 愛知県名古屋市[2017/11/15(水)]、熊本県熊本市[2017/12/4(月)]、
広島県広島市[2017/12/22(金)]、大阪府大阪市[2018/1/19(金)]、
宮城県仙台市[2018/1/23(火)]、東京都千代田区[2018/2/7(水)]にて開催予定です。

詳細は[<http://www.resilience-jp.org/certification/seminar/>]をご参照ください。

プログラム

開会の挨拶 13:00-13:05 (5分)

内閣官房国土強靱化推進室

基調講演 1 13:05-13:40 (35分)

過去の災害から学ぶ日本の災害医療と
医療・社会福祉施設が抱える課題

富岡 譲二氏

(社会医療法人緑泉会 米盛病院 副院長)



基調講演 2 13:40-14:15 (35分)

熊本地震における基幹災害拠点病院のBCP

奥本 克己氏

(熊本赤十字病院 第一救急科 部長)



基調講演 3 14:15-14:50 (35分)

事業継続のための準備についてー地方災害拠点病院の取り組みー

佐藤 友子氏

(佐賀県医療センター好生館
救命救急センター 副センター長)



休憩 14:50-15:05 (15分)

講演 15:05-15:20 (15分)

国土強靱化の取組と
国土強靱化貢献団体の認証制度について

内閣官房国土強靱化推進室

パネルディスカッション 15:20-16:00 (40分)

「九州地域におけるレジリエンス強化」

<パネリスト> 九州地域会場講演者

<進行> 紙谷 あゆ美氏(株式会社インターリスク総研リスクマネジメント第三部事業継続マネジメントグループ テクニカルアドバイザー)

閉会 16:00